

小規模多機能型居宅介護 和が家「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社 パートナーステーション	代表者	小原 陽一	法人・ 事業所 の特徴	高齢者が慣れ親しんだ地域での生活が継続できるよう、人と人が助け合い、1日1日が高齢者の生活にとって質・量ともに適切な支援が受けられ、また個人の尊厳ある生活が確保されていくことを目指します。 自然豊かな春光台に位置する地域性を活かし、毎日の生活の中で自然を感じながら、優しく穏やかな時間が共有できるよう共に過ごして行きたいと考えます。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 サテライト和が家	管理者	松塚 幸江		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	2人	2人	1人	人	1人	人	5人	人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	今後も、全職員が自己評価に取り組みめるように継続していきたい。	事業所常勤職員及び時間契約職員においても自己評価に取組み意見を聴取できている	職員で実施している事は確認できる	今後も全職員が自己評価し取り組むようにけいぞくしていきたい。
B. 事業所のしつらえ・環境	看板は大きく出してはおりませんが、地域の方々に認識して頂けるようにしていきたい。	少しずつ、輪が家を通じて地域の方々に知っていただけている。環境にも季節を通して楽しめるよう整備している。臭いにも配慮している。	事業所は施錠はされておらず、臭いも気にならない。	環境整備も今後、気をくぼり、季節で楽しめるように整えたい。
C. 事業所と地域のかかわり	いつでも笑顔で挨拶のできる事業所にしていきたい。	いつでも相談しやすいように対応するようにしている。笑顔で挨拶も心がける事ができた。	挨拶など非常に良い、事業所のスタッフも地域の行事やイベントに参加されているのを確認しています。	挨拶は基本であるため、明るく、元気よくを心がけ、相談しやすい事業所にしていきたい。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域の方々との交流を徐々に増やし、いつでもお越しいただける環境を作りたい。	スーパーに買い物に同行したり、家事を一緒にするなど取り組めた。また、季節を感じる企画や外出ができて、楽しんでいただけた。	地域のスーパーやイベントにて姿も気受けられている。、閉鎖的には感じない。	地域との関わりを今後も繋げていけるように、なじみの公共の場やイベントに関わりをもちたい。
E. 運営推進会議を活かした取組み	今後も開催を継続し、情報を発信していきたい。	情報が分かりやすく伝わるように写真を添付するなど工夫した。	2ヶ月に1回の開催は継続されており、資料も毎回わかりやすく作られている。	地域の方々のご意見を頂きながら、情報共有していきたい。地域にも役立つ企画も考えていきたい。
F. 事業所の防災・災害対策	防災においては、いつでも対応ができるようにしていきたい。	サテライトは自主訓練を年に2回おこなった。	年2回の避難訓練、内1回は夜間想定とされており、地域住民も緊急時には協力をします。代表者も地域の防災活動に参加している。	今後も自主訓練を実施し迅速に対応出来る様に取り組んでいきたい。